

「かさ袋びっくり箱」

紙コップのストローに息を吹き込むと飛び出す、びっくり箱。ふた、かさ袋におもしろい絵を描いてつくります。

【用意する材料】

紙コップ（ポップコーン用などの大きなもの） 1個、かさ袋 1枚、ストロー（蛇腹がついた太いもの） 1本、厚紙（少し硬めで無地のもの） 1枚

【用意する道具】

絵を描く材料（クレヨン、マジック、絵の具など）、セロハンテープ、千枚通し、鉛筆、はさみ

《動画で用いる「加工済の材料」をご家庭で加工する場合のご案内》

加工済の材料	ご家庭で加工する場合のご案内
紙コップ (大)	<p>①ポップコーン用などのできるだけ「<u>大きな紙コップ</u>」（写真は600ml）を1個使用します。 100円ショップ等で購入できる540mlの紙コップなどでも大丈夫です。</p> <p>②「<u>下から4センチ</u>」ほどの所に、ストローが入る「<u>直径6～7mmほどの穴</u>」を千枚通しなどを使って開けます。</p> <p>直径6～7mmほどの穴</p> 
かさ袋	<p>①店舗入口に置いてあるような「<u>薄いかさ袋</u>」を1枚使用します。</p> <p>②100円ショップ等では100枚ほど入って安価で購入できますが、使用は1枚だけですので、店舗等で使用した「かさ袋」を捨てずに取っておき、マジックで絵を描けるようにしっかりと乾かせば使用できます。</p> 
ストロー	<p>①直径6～7mm程度の「<u>太めストロー</u>」で、「<u>蛇腹がついていて折れ曲がるもの</u>」を1本使用します。</p> <p>②100円ショップ等では100本ほど入って安価で購入できますが、使用は1本のみですので、店舗等で使用したものを捨てずに取っておき、乾かせば使用できます。</p> 
厚紙 (ふた用)	<p>①膨らんだかさ袋に押されて持ち上がるような「<u>少し硬めの厚紙</u>」で、絵が描ける「<u>無地のもの</u>」を使用します。</p> <p>②紙コップを逆さまに置き、フチに合わせて鉛筆で線を引き、あとの、はさみで<u>丸く少し大きめに切り取り</u>ます。</p> <p>丸く少し大きめに切り取った厚紙</p> 

※用意ができましたら、「動画」をご覧くださいながら「ものづくり」をお楽しみください。